

伴走支援企業の概要

(1) 株式会社 Arsci (アルシ)

- ・ 本社横浜市都筑区、2021年4月設立、資本金2百万円、従業員数2名、売上 なし、 当期利益 なし
- ・ 代表者は日本どうぶつ先進医療研究所株式会社の代表取締役、麻布大学附属動物病院病院長を兼務。
- ・ 動物病院の検査結果も統合する電子カルテシステムを構築し、動物病院で利用してもらうことを目的とする。
- ・ 動物の飼い主用のアプリを開発し、電子カルテと連動させることによって安心した医療が提供できるようにする。
- ・ 電子カルテで得られた情報を学術並びに研究開発に利用できるようにする。
- ・ 伴走支援者には求める領域は①システムエンジニアの採用確保、②ビジネスモデルの構築、③サーバー構築・ネットワークシステム・メンテナンスサポート体制の早期構築支援。

(2) 株式会社ウィメンズ漢方

- ・ 本社横浜市栄区、2016年11月設立、資本金3百万円、従業員8名
売上 137百万円、 当期利益20百万円
- ・ 代表者は薬剤師、国際中医専門員。
- ・ カウンセリングに重きを置き、漢方薬の力を活用して特に妊活分野でより多くの全国の患者に寄り添う、またはその人材を育成。
- ・ 不妊治療を行う西洋医学の病院と連携しているため、学術の意見交換や治療方針の統一がなされており、西洋と東洋双方の力で治療をバックアップしている
- ・ 伴走支援者に求める領域は①マーケティング・広報活動を強化し、同社の強みである「不妊治療への先端の知見」「カウンセリング力」「東洋と西洋の連携」「健康経営支援」を望むクライアント・提携企業との連携、②新規分野の開拓なども視野に入れた安定的かつ持続可能な事業形態を整えること。
- ・ オンラインを中心とした伴走支援を希望

(3) 株式会社 Next Story

- ・ 本社横浜市都筑区、2018年12月設立、資本金3百万円、従業員

1名、売上2百万円、当期利益332千円

- ・代表者は昭和女子大学現代ビジネス研究所で「働く女性のセカンドキャリア」を研究。研究結果を基に「マチュア世代の働く女性のセカンドキャリア」支援活動を展開。
- ・マチュア世代の企業で働く女性に特化した、（定年後の）セカンドキャリアを支援する研修事業。

特長1：女性に特化した研修

特長2：現場の実情を反映

特長3：研修後1年間継続フォロー

特長4：修了生のためのコミュニティで情報共有

- ・創業後累計5回の研修を実施。
- ・伴走支援者に求める領域は、①企業へのアプローチ（営業活動）で、毎回一人でも研修に参加する受講生を継続的に送り出してくれる企業の複数開拓、②修了生コミュニティの収益化も含めた事業戦略・ビジネスモデルの構築支援。

（4）レインブラントティー株式会社

・本社横浜市中区、2019年7月設立、資本金3百万円、従業員0名、売上682千円、当期利益-2,035千円

- ・代表者は鳥取大学農学部卒、ケニアに4度渡航し紅茶に関心持ち、2012年モスフードサービスに入社、紅茶カフェ事業に従事。
- ・国産紅茶（和紅茶）専門のオンラインショップの運営、及び和紅茶の卸売業、紅茶セミナーを実施。和紅茶を「品種・茶園・地域」で分類、紅茶鑑定表を使って消費者が和紅茶にアクセスしやすいサービスを提供。和紅茶取扱ラインナップは業界トップクラス。
- ・伴走支援者に求める領域は、①ブランディング、②自社商品の販路拡大、③オンライン上の集客実現

以上